

令和4年12月 発行

第7ブロックニュース

日増しに寒さが身にしみるようになりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今年度2回目のブロックニュースをお送りします！



<今年度の世話人>

【代表】 室井 健太郎 (366リハビリテーション病院) 【会計】 奥野 朋子 (国分寺病院)

【世話人:巡回相談担当】 大川 真央 (武蔵野赤十字病院) 【世話人】 井上 敬介 (分梅クリニック)

【世話人】 小杉 麻耶 (多摩丘陵病院) 【世話人】 畑中 諒太 (多摩総合医療センター)

■オンライン名刺交換会について

2022年7月27日にオンラインの名刺交換会を行いました。7ブロックに所属されている病院や施設などのソーシャルワーカーの方が多数参加してくださいました。

コロナ渦で2年連続オンラインでの開催となりました。話題もコロナ渦の中でのそれぞれの所属する施設の対応に関して状況の共有が中心となりました。

他の病院の状況を知ることは、それぞれが置かれている施設との違いを知り、それが日々の業務に置き換えて色々考えさせられることができとても有意義な時間となりました。

こういった機会を通じ、このコロナ渦の中で共に奮闘し頑張っている「共」がいることには、参加されたみなさんがとても勇気づけられたかと思います。

■府中市の福祉まつりに「巡回相談」として参加しました！

2022年10月16日 府中市の福祉まつりにコロナ渦になってから初めて対面での巡回相談に、世話人の皆で参加しました。この福祉まつりは歴史が古く今年で42回目だそうです。地域の福祉関係者の方がそれぞれブースを構えて思い思いの参加の仕方であつりを盛り上げていました。私たち世話人も開始の10時から終わりの16時までブースに立ち続けました。

相談は6件、アンケートなどにお答えいただいたのは8件ありました。相談いただいた中で、難病の30代の女性で市内在住、普段は都内の病院に通院中の方の相談を受けました。病気に罹患してから家族や友人には患者数が少ない病気のため自身の相談をすることはなく、この巡回相談で「私のことを話したい」と思ったとのことで、自身の状況を相談された方がいました。30分以上立ち話ではありましたがお話を傾聴しました。その方の問題に解決は見出すことはできませんでしたが、話の最後で「聞いてくれてありがとうございました」と去っていかれました。

今回のような不特定多数の方が相談できる巡回相談のような場所があることが、時に地域の潜在的に困っている方の「話ができる場所」としての助けになる可能性を実感した時間となりました。

今年度は12月4日にある調布市の福祉祭りにも参加しました。

また次期でこのことは報告できればと思います。



(ブロック世話人と、府中市長の高野様とお隣のブースで参加されていた老健ふれあいの里の江田さんと一緒に写真撮影しました。)

■今後の活動

年明けに講師の方を招き、オンラインでの勉強会を予定しております。また決定しましたら報告いたします。

